

平成19年度「府中市キャリア・スタート・ウィーク」
教職員一日職場体験研修報告書

府中市立第四中学校
氏名 坂本 恭子

体験日	平成 19年 8月 20日(月)
体験事業所	石原工作所株式会社
1 感想	
<p>室長さんのほうから、労働の意義や夢を持つことの大切さなどのついて、お話をしていただきました。同じ仕事をするにも、目標や夢を持って取り組むことが、次への意欲につながるというお話お聞きして、今の自分を振り返ることができました。</p> <p>室長さんが若い頃、自分の希望ではない仕事をする事になり、挫折感を味わっていた時、上司に言われた言葉、「だまされたと思って、今の仕事を精一杯やってみる。」それから、人が二ヶ月かかる仕事を一ヶ月でやるというように、とにかくがんばった。そうすると、まわりからも評価されてうれしくなるし、仕事も楽しくなってきた。それから、自分には、嫌いな仕事はひとつもなくなった。気持ちの持ち方次第だということだと思う。という室長さんの郎等感は、仕事に限らず、いろんなことにあてはまるなと思います。</p> <p>お話をお聞きしたあと、工場見学をしました。下請けの工場は、1円でもコストをおさえること、納品の時間厳守がとても大事だということをお話していただきました。</p> <p>その後、在庫の棚おろしと整理をしました。暑い中での作業はとても厳しかったです。</p> <p>今回、一日職場体験研修に参加して、キャリア・スタート・ウィークから生徒たちは多くのことを学ぶことができると実感しました。そして、それは受け入れてくださる職場の方の協力と熱意のおかげだということをお忘れにはいけないと思いました。</p>	
2 平成20年度「府中市キャリア・スタート・ウィーク」の推進に向けての抱負及び改善点	
<p>今回キャリア・スタート・ウィークの初日に参加し、職場の方から『働くこと』の意義や、経験談等をお聞きすることができたのはとてもよかったですと思います。職場によって、こういったお話があるところとないところがあるのが現状です。これは、それぞれの職場の事情によるものかなと思います。できる範囲で話をしてもらおうように、事前をお願いをしたいと思います。</p>	